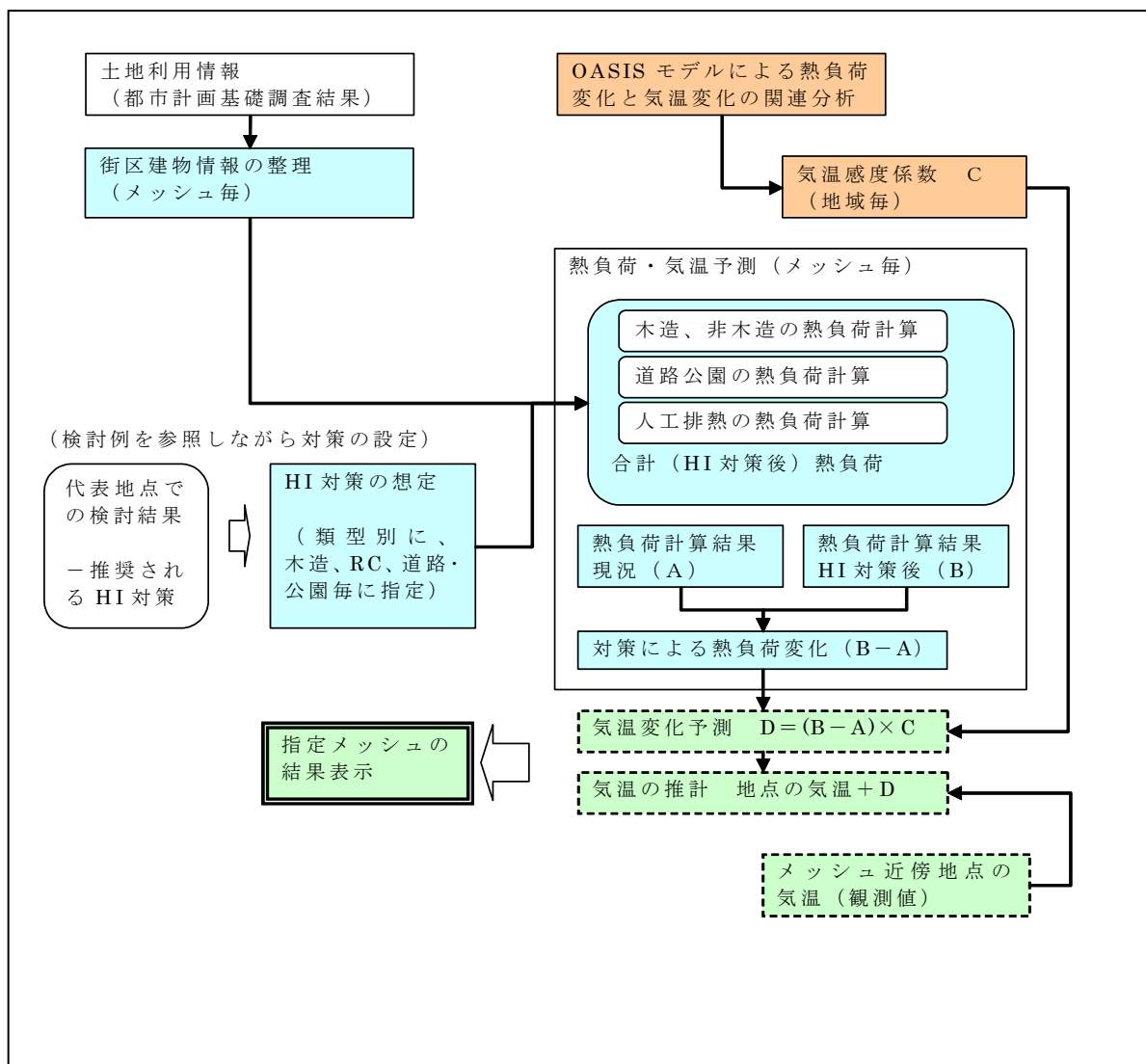


(2) 対策効果シミュレーション

大阪府下において、ヒートアイランド対策の効果を数値的に把握するため、熱環境マップを基に現況とヒートアイランド対策を行った熱負荷の算出、および対策による熱負荷の変化から気温変化を予測するシステムを平成 23 年度環境省事業「大都市中枢街区における総合的なヒートアイランド対策による熱環境管理推進事業委託業務」、平成 24 年度環境省事業「ヒートアイランド対策効果シミュレーション業務」において作成した。

熱負荷計算は「ヒートアイランド熱負荷計算モデル」を使用し、建物・土地利用データは大阪府・大阪市で整備されているメッシュデータを利用した。気温変化の推定は OASIS（気象解析）モデルによる地域毎の「気温変化／熱負荷変化」の把握から、現況と対策による熱負荷の差を気温変化に反映させた。

ヒートアイランド対策ガイドラインで示す地域類型毎にヒートアイランド対策の導入量を入力することにより、メッシュ毎に熱負荷を算出し、気温変化を予測することができる。



シミュレーション概要

出典) 大阪府資料